

令和3年度福島県農業総合センター農業短期大学校学校関係者評価の結果（まとめ）

学校関係者評価委員の評価結果は以下のとおり

評価項目		評価（○印）			
		A	B	C	D
1	自己評価の実施方法は適切か （重点目標、評価項目の設定は適切か）	適切である	ほぼ適切である	やや不適切である	不適切である
	○				
【改善に向けた提言】 ○本県唯一の農業大学校として、担い手育成に主眼をおいた重点目標や評価項目は適切である。 ○重点目標に対して課題が設定され具体的な方策と評価指標が設定され、適切と考えられる。 ○詳細かつ適切に自己評価を実施し、分析されている。 ○中には数値目標が意欲的に設定され着実な実施がなされている。 ○適切であると考えられる。					
2	取組は適切か （重点目標を受け、具体的な方策方策は適切か）	適切である	ほぼ適切である	やや不適切である	不適切である
	○				
【改善に向けた提言】 ○コロナ感染症対策が必要な教育環境において、実施可能な取組も限られる中、実施できた取組は適切である。 ○具体的な方策では、地域に根ざしており、学生の実践的な学修効果が考慮された方策が設定されているため、適切と考えられる。 ○目標を重点化し、数値目標を掲げて適切に取り組んでいる。					
3	自己評価は適切か （自己評価の結果は適切か）	適切である	ほぼ適切である	やや不適切である	不適切である
	○				
【改善に向けた提言】 ○活動評価として、開催回数や資格合格人数等の評価は分かりやすいが、開催後や資格取得後の活用内容等を評価できるとより効果的と思うが、困難ではあろうが検討してほしい。 ○評価指標がややきびしいためか、A評価がやや少ない印象がある。その点で評価がやや低くなっているとも考えられる。 ○コロナによる影響も見受けられるため、次年度の取組に生かしていただきたい。 ○適切な評価がされている。					
4	改善策は適切か	適切である	ほぼ適切である	やや不適切である	不適切である
	○				
【改善に向けた提言】 ○学生生活の現状や最近の若者の考え方等に寄り添った改善策が検討・提案できれば良いと思う。 ○課題も少なくないと思います。予算の問題もあると思いますが、できることから改善に向けて取り組んでいただきたい。 ○教職員の評価で、施設設備の更新が求められている。 ○本県農業の担い手育成に大いに期待している。 ○情報発信などでも意欲的に改善がなされているので、改善策は適切である。					

【その他の意見】

○学生の自治活動や寮生活、食事などに課題があると資料から教えていただきました。寮での学生生活は人間（格）形成においては、大変重要であると考えています。学生の自覚を促し、可能などころから環境改善を図っていただけたらと思います。本日、大規模な整備事業計画があるとうかがい、とても期待しております。

○学校評価の取組は、マネジメントサイクル（P-D-C-A）をしっかりと回し、より適切な学校運営を進めていくうえで、素晴らしい取組である。続けていくと、ややもすれば形骸化したりすることもあることから、今後も実効性のある評価を期待します。

○教育内容は学生、職員、保護者共に適しております。しかし、学生ホール、寮生活、学生食堂は不満が多い。オープンキャンパス時などで、この評価が懸念されます。施設の実習は職員と学生間に差があります。

○最近のオンライン授業の手法や話題になる予備校講師の授業手法等、あきられない授業の要素等を取り入れられれば、最近の若者が興味を持って授業に参加できるような工夫ができるのではないかと。特に、経営的内容や社会人の心構え等単調になりやすい授業内容の改善につながれると思う。

○意見交換の時も出たが、主流の雇用就農の継続状況（定着率）の把握、離職時の要因分析等ができれば、今後の対応や改善策につながると思う。

○国の施策の柱として環境や有機農業への関心が高まっているため、既に本校で進めているが再度、特出しした方がよいと考える。

○進路について、就農者が2年連続で過去最大の43%となっている。教務上の取組や学生の変化・意欲があったと思われるが、引き続き定着するよう努力されることが望まれる。

○教育の方向について、国際的視点、農学情勢変化がかかげられている。海外輸出額が1兆円を超えたこともあり、ブランド化、高齢化、付加価値化を注目されている。これらの点での学修教育の強化についても検討されることが望まれる。

○学生の相談体制について、メンタルヘルス、ハラスメント上での相談・対応体制について既に検討されているかもしれませんが、今後も引きつづき注視されたい。

○全体にわたり、普段の努力をされており、きわめて高く評価されると存じます。

○研修部の定員に対する需要が多いことなどから農業に対する関心が大きくなっていると思います。残念なのは、学生の定員割れです。推薦が多いのは理解できますが、受験者数の増加は見込めないでしょうか。

○研修部さんへのニーズが高いことに対して、大切な新規就農者、担い手農業者のためにその枠の拡大していただきたい。

○農業への哲学の教育をしてほしい。